

第9回日常診療経験交流会第4分科会 (歯科)

フレイル対策からチャットGPTまで多彩に6演題

実行委員 小山賢一

7月9日に開かれた第9回日常診療経験交流会で、第4分科会に参加した同実行委員の小山賢一氏に報告を寄せてもらった。



座長を務める森啓氏(左)と玉川尚美氏(右)

第4分科会では、歯科分野を中心とした6演題が発表された。口腔機能の低下を簡潔に診断分類する方法や、舌小帯の切除と口腔機能との関連の発表、風船を使った口腔機能のトレーニングや、歌うことがフレイル対策になるなど、どれも明日からの臨床で即利用できるような内容ばかりだった。

トレーニングは習慣化することが大切であり、発表では「手軽にできる」「手軽に手に入る」ことがよく考えられていた。他にもコロナにおいて、地域弱者、医療弱者が出ないように、歯科も地域の一員として取り組んでおられる先生の発表などもあった。社会の一員としての歯科の責務などを改めて認識させられた。変わったところで

科の領域であるのかそうでないのか。歯科領域であれば、どのように訓練すればよいのかなどの発表があった。チャットAIを使ってみたら患者・スタッフがAIに相談したとしたら、東大阪市・西川眞二氏

小児科学会は舌小帯の切除に対する根拠がないと発表しているが、口腔機能の発達のためにも、切除するほうが良いこともあるのではと問いかけた。質問の仕方により、返事も色々変化。基本的には、一般的な当たり外れのない返事が返ってきており、大きく間違っているということもないようだ。今後、患者が医者に聞かずに、自分でAIに診断を任せるようなことも増えていくのかもしれない。医者としても、AIというものと無縁ではいけない気がした。

コロナに対して地域での連携した取り組みと支援活動 西成区・渡邊充春氏

西成区で、地域の支援をしておられる先生の発表で、コロナで取り残された人々をいかに医療を含めた支援に結びつけていったかの活動の記録が発表されていた。コロナで自粛が広がったが、自粛では支援が行き届かない情報弱者が取り残されてしまう。それらの人を取りこぼさないようにす

るためには、日頃からの地域で支援を行う体制作りが必要だ。歯科も社会の一員としての取り組みが必要だと感じた。舌小帯短縮症を有する上顎前突患者の治療経験 大阪市港区・富本昌之氏

小児科学会は舌小帯の切除に対する根拠がないと発表しているが、口腔機能の発達のためにも、切除するほうが良いこともあるのではと問いかけた。質問の仕方により、返事も色々変化。基本的には、一般的な当たり外れのない返事が返ってきており、大きく間違っているということもないようだ。今後、患者が医者に聞かずに、自分でAIに診断を任せるようなことも増えていくのかもしれない。医者としても、AIというものと無縁ではいけない気がした。

縮症は受け口だけでなく、上顎前突の原因となることもある。ケースによっては、切断を検討するに値するのではという提案があった。トレーニング用吹き戻しと風船を用いたフレイル対策のすすめ 大阪市浪速区・豊田裕章氏

口腔機能トレーニングの方法の一つとして、吹き戻しを使ったトレーニング方法を紹介された。トレーニング用吹き戻しなどもあり、レベルも色々あるが、問題は手に入りやすいことだ。トレーニングは手軽にできて習慣化させることがとても大切だ。そこで、100円均一などでも手軽に手に入る風船を使ったトレーニングを紹介した。田邊美樹子氏

口腔機能低下の予防対策 田邊美樹子氏

あることを基調講演で松本一先生が強調されていた。張りのある生活・規則正しい生活は生きることに對する姿勢であり、そこが問われている。今問題になっている様々な現象は、コロナ禍の社会や個人の生活・ライフスタイルがいかに大きな影響を与えたかを改めて感じた。だからこそ今の私たちの生活はアクティブで活性的で前向きであることが大切だと改めて感じた。

「精神的フレイル」の清水聖保先生の発表で「精神的フレイル」の活性そのものが根本に

策として歌うことを使った効果について説明された。歌うことは習慣化しやすく、楽しく効率よくトレーニングが可能。カラオケで歌うことを習慣化した実践では、唾液量、嚥下、咬合力、飲み込む力、免疫力など全てにおいて向上していた。また、歌などの意識的リズム運動を行うことによってセロトニンという幸せ物質が放出される事もわかっている。歌わなくても、みんなで歌っているだけで拍手を行っているだけでも効果があるようだ。

第4分科会の様子

第2分科会(在宅)で発表 福原稔(吹田市)

新登場 医師・歯科医師専用 **長期休業保障制度「リレープラン」のご案内** (団体長期障害所得補償保険)

医師・歯科医師のそんな「もしも」をサポートする新たなプラン(リレープラン)が登場!

●今までになかった長期休業保障制度(所得補償保険)の後ろを“最長満70才まで”補償します!

新しく導入しました!

リレープラン 保険金額10万円1~15口まで(10~150万円/月)

※免責期間は369日または500日から選択。保険金支払対象期間:最長満70才に達した日まで

就業障害発生

休診時に必要となる費用

スタッフなどの人件費	住宅ローン	生活費
家賃などの固定費	傷病の治療費	教育費

「リレープラン」のイメージ